

緊急特集

どうする市民の生活路線

佐賀市営バス迎島線（千代田東部地区）廃止か

佐賀市交通局は時刻表どおり運行ができていない路線の見直しや、収益の状況に応じ一部路線の改廃を行うため、ダイヤの改正を本年6月に予定しています。

その中で迎島線の廃止が次のような理由で検討されています。

一、迎島線の改廃が危ぶまれる

迎島線（佐賀駅バスセンター～千代田町迎島）については、現在、上り4便、下り3便の運行を行っています。利用者が一日平均41人（一便平均5・8人で千代田町の利用者は平成19年10月の調査では乗車した人、一便平均1・6人、降車した人、一便平均1・3人）と極めて少なく、佐賀市（400万円）と神崎市（600万円）からの補助金による赤字補填で路線を維

持している状況です。佐賀市交通局は「今後も利用者の増加や改善が見込めないため、迎島線の廃止を検討する。」と言っています。

二、地元住民の声は

黒津区長

集落としては存続して欲しい。地区で一年間にバスの駐車料金として5万円、利用者増のため回数券補助として1セット3千円のうち1千円を補助し、年間3万円前後負担しています。廃止になると通院や通学が不便になります。神崎市としての対応策を考えて欲しいと思います。

下神代区長

この路線は下村湖人生家もあり、観光路線として必要です。さらに、廃止になれば、買物や通学に不便です。また、人口の減少に拍車がかかります。是非

存続して欲しいと思います。

中津区長

廃止になればバスも通っていない千歳地区と言われます。過疎化が進むことが心配です。

三、どうする市民の生活路線

神崎市は市民の生活に関するこれらの問題については、早く市民に知らせ、今後の対応策と併せて市内の交通対策を提示すべきと思います。今後、3月議会での論戦を期待するところです。

（取材、広報委員会）



神崎市千代田町迎島線を走る
佐賀市営バス（黒津バス停車場）